

循環器精密検診

動 向

当協会の循環器外来では、人間ドックの循環器系オプション検査のほか、健診結果で精密検査が必要な方や自覚症状を有する方に対し必要な非侵襲的検査を実施し、専門医療機関へのパイプ役を務めている。外来での精密検査の結果は次回の健診結果にもフィードバックされ、健診がより効果的で有意義になるといえる。

平成25年度からは積極的に産業保健分野の循環器精検を受け入れられるよう、当外来での精密検査枠を増やすよう態勢を整備した。このため、新規受診者数や各検査数は増加した。さらに受け入れ数を増やせるよう調整中である。また、人間ドックの事後フォローを充実させるため新しいフォローシステムを作成中であり、悪性疾患を疑う項目に比べて精検受診率が低い循環器系の精検受診率が上がることが期待され、要精検者が当外来に結びつくと考えられる。

方 法

当協会の循環器精密検診は、横浜市立大学病院からの応援医師を含め循環器専門医が担当している。外来では、トレッドミル運動負荷試験、心臓カラー Doppler 超音波検査、頸動脈超音波検査、24時間ホルター心電図、24時間非観血的血圧測定、血圧脈波検査などの諸検査と医師の診察、保健指導を半日で効率よく受けることができる。さらに精密検査や専門的治療が必要な方は専門機関に紹介する。非観血的検査で経過観察できる受診者の多くは、当外来で定期的に検査を実施しながらフォローしている。また、労災二次健診では心疾患、脳血管障害の早期発見のため、頸動脈エコーやトレッドミル運動負荷心電図（または心臓超音波検査）も担当している。

結 果

平成25年度、人間ドックなどの一次健診後、新規に循環器精密検診を受診した者は、計137名（男性87名、女性50名）で、年齢は平均63.4±12.5歳（25～92歳）であった。

受診者の流れをみると、人間ドックから76名、ACクラブから8名、産業保健29名、その他24名であり、産業保健分野からの受診者が増えた。受診理由は、一次検査異常からの受診が127名（心電図異常86名、心雑音11名、心拡大・心陰影異常2名、高血圧11名、代謝異常17名）であり、胸痛などの自覚症状からは10名であった。

循環器精密検診受診者の検査データ（表1）は例年どおりで、人間ドック全受診者との平均値の比較

では特別な傾向は認められない。しかし、内服治療中の項目も含めて動脈硬化危険因子を抽出すると、一つ以上の危険因子を有するものは137名中111名（81%）と大半を占めている（表2）。危険因子数は1個が36名、2個36名、3個13名、4個以上7名でマルチプルリスクファクター症候群に相当する者が多く、リスクの頻度は脂質異常症、高血圧、肥満、耐糖能異常の順であった。

精密検査の内容は、トレッドミル運動負荷試験50名、心臓超音波検査96名、24時間ホルター心電図40名、頸動脈超音波検査14名、血圧脈波検査16名等である。トレッドミル運動負荷試験の判定結果は50名中、陽性7名、境界域6名、陰性37名であった。心臓超音波検査からは、高血圧性心肥大15名、肥大型心筋症5名、弁膜症26名、左室壁運動低下6名、心内腔拡大4名が診断された。ホルター心電図では発作性上室性頻拍、非持続性心室性頻拍、発作性心房細動などが発見された。

精査の結果、最終的に心配なしと判断されたのは36名、健診で経過観察すればよいもの54名であった。さらに精密検査や定期的に検査を行う必要があるものおよび治療が必要なものは47名で、この内10名は横浜市大附属病院、横浜労災病院など専門医療機関に紹介された。紹介先の医療機関では、冠動脈CT検査、心臓カテーテル検査、心臓核医学検査（心筋シンチグラム等）などが行われ、経皮的冠動脈インターベンション（PCI）などの血行再建術やカテーテルアブレーションを受ける者もあった。

労災二次健診の受診者は129名で、受け入れ態勢を整えていることもあり受診者増加が続いている。一次健診時のデータは、年齢51.7±9.7歳、BMI28.7±4.4kg/cm²、LDLコレステロール141±30mg/dl、HDLコレステロール50±13mg/dl、トリグリセライド236±177mg/dl、空腹時血糖129±39mg/dl、収縮期血圧148±17mmHg、拡張期血圧97±10mmHgであった。循環器検査を行った結果、トレッドミル負荷試験実施者129名中陽性または境界域が19名（15%）、頸動脈エコーでは58名（45%）にプラークが認められた。当健診の対象はマルチプルリスクファクター症候群であり、比較的若年者でも頸動脈プラークがみられ、虚血性心疾患が疑われた12名がさらに精密検査が必要となり他機関を紹介された（うち1人は30歳代で陳旧性心筋梗塞であった）。ハイリスク者に対する早期の循環器精検の必要性を示唆する結果である。

関係の集計表は131頁に掲載